

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|---|
| 事故等番号 | 2010門第8号 | |
| 事故等種類 | 衝突（灯浮標） | |
| 発生日時 | 平成21年11月28日 12時30分ごろ | |
| 発生場所 | 宮崎県串間市鬢垂島南方沖 鬢垂島灯台から真方位187° 2,700m 付近（概位 北緯31°24.1′ 東経131°12.7′） | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年1月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 交通船兼作業船 第十八祐真丸、19トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 295-37033宮崎、山下産業株式会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型船舶操縦士 | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 灯浮標損傷 えい航中の生け簀破損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか1人が乗り組み、縦列に接続した生け簀7基を約1ノット（kn）の速力で北東に向けてえい航中、平成21年11月28日12時30分ごろ、後方から2番目の生け簀が串間市福島港沖の養殖漁場に設置している灯浮標に衝突した。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約2～3m/s、視界 良好 海象：波高 約10cm、潮流 北流 | |
| その他の事項 | 生け簀の大きさ 縦8m、幅8m | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、鬢垂島南方沖において、連結した生け簀（全長約60m）をえい航し、養殖漁場に設置されている灯浮標の南方約50m沖を、約1knの速力で北東進中、潮流に圧流されて、後方の生け簀が灯浮標に衝突したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、鬢垂島南方沖において、本船が生け簀をえい航中、灯浮標に接近して航行したため、潮流に圧流されて生け簀が灯浮標に衝突したことにより発生したものと考えられる。 | |